

1 日時・場所

日時・場所：平成27年2月28日(土) 14時～16時、市役所第4庁舎 2階ホール・ホワイトエ

2 内容

(1) 全体スケジュール

時刻	内容	
13:15	各委員集合。会場準備。各自、自分が担当する内容を準備する。	
13:30	開場・受付開始(赤間、塚原、畑、山田)、当日の資料配布	パネル展示(2階ホワイトエ)
14:00	1部：第5期区民会議からの報告	岩瀬・朴、新井(一)・森脇
14:00	開会(司会：石渡委員)、新井副委員長挨拶(1分)	第5期審議内容をまとめたパネルを展示。来場者に意見、感想などをポストイットに書いて、パネルに貼ってもらう。 A班：岩瀬、朴 13:30～14:00 B班：新井(一)、森脇 14:30～14:40 15:00～15:10 15:52～16:00 ※A班は開演まで。B班は各休憩時間と終了後10分程度。
14:01	第5期審議・取組状況報告(新井副委員長4分、戸村部会長10分、原部会長10分、質疑応答5分)	
14:30	第5期審議・取組状況報告終了、委員は着席し、2部以降を観覧 ※舞台転換：机椅子の配置替え、その間に入賞者のスライドをスクリーンに流し、準備が整ったら、スライド終了・プロジェクタ撤去	
14:40	2部：環境ポスターコンクール表彰式	
14:40	表彰式スタート	
15:00	表彰式終了 ※舞台転換：机椅子の撤去、高座設営、織毛、めくり札など。	
15:10	3部：落語	
15:10	落語スタート(25分)	
15:35	師匠への質問タイム！(15分)	
15:50	落語終了	
15:50	開会の挨拶(大谷区長)2分	
15:52	閉会	
	アンケート回収	
16:00	後片付け、解散	
17:00	完全撤収	

(2) 各委員の役割と当日の流れ

- 司会(石渡委員)
- 副委員長あいさつ、区民会議の概要と第4期の審議内容・成果の説明(新井副委員長)
- 第5期審議内容の説明(戸村部会長、原部会長)
- 受付・資料配布(4名：赤間委員、塚原委員、畑委員、山田委員)
- パネル展示(A班：岩瀬委員・朴委員、B班：新井委員・森脇委員) ※時間で交代
- 会場整理、誘導(2名：埜瀬委員、中村委員)

(3) 区民会議からの報告の内容について メイン会場(2階ホール)

司会：石渡委員

①はじめに(1分)(新井副委員長)  
区民会議副委員長によるあいさつ

②区民会議の概要とこれまでの主な取組(第4期の成果)(4分)(新井副委員長)  
区民会議の概要と第4期の審議内容とその成果について説明します。

- 区民会議とは。課題解決の流れ
  - 第4期の成果(海拔表示板の設置、防災出前講座の開催、予防接種の接種率向上に向けた取組み、多言語窓口問答集の作成等)
- ※発表については、パワーポイント(スライド)を用いて説明します。

③第5期区民会議審議内容(20分)  
各審議内容について、各部会の部会長からこれまでの審議経過及び審議内容を報告します。

- 地域を育むまちづくり部会(10分)(戸村部会長)
  - だれもがいきいき暮らす部会(10分)(原部会長)
- ※発表については、パワーポイント(スライド)を用いて説明します。

④質疑(5分)

(4) 展示会場でのポスターセッション(2階ホワイトエ)

- 区民会議審議内容をまとめたパネルを作成し、ポスターセッションを行います。
- 参加者(区民)には、「いいね!」と思う取組みにシールを貼ってもらうほか、質問や意見、感想などをポストイットに書いて貼ってもらいます。
- ここで出された質問や意見、感想については、その後の審議の材料にすることが考えられます。

【ポスターセッションのイメージ】



# 第5期川崎区区民会議の 審議・取組状況について

平成27年2月28日(土) 川崎区区民会議フォーラム

1

## 本日の報告内容について

1. 区民会議の概要
2. 前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果
3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況
  - (1)「地域を育むまちづくり部会」からの報告
  - (2)「だれもがいきいき暮らす部会」からの報告

2

# 1. 区民会議の概要

3

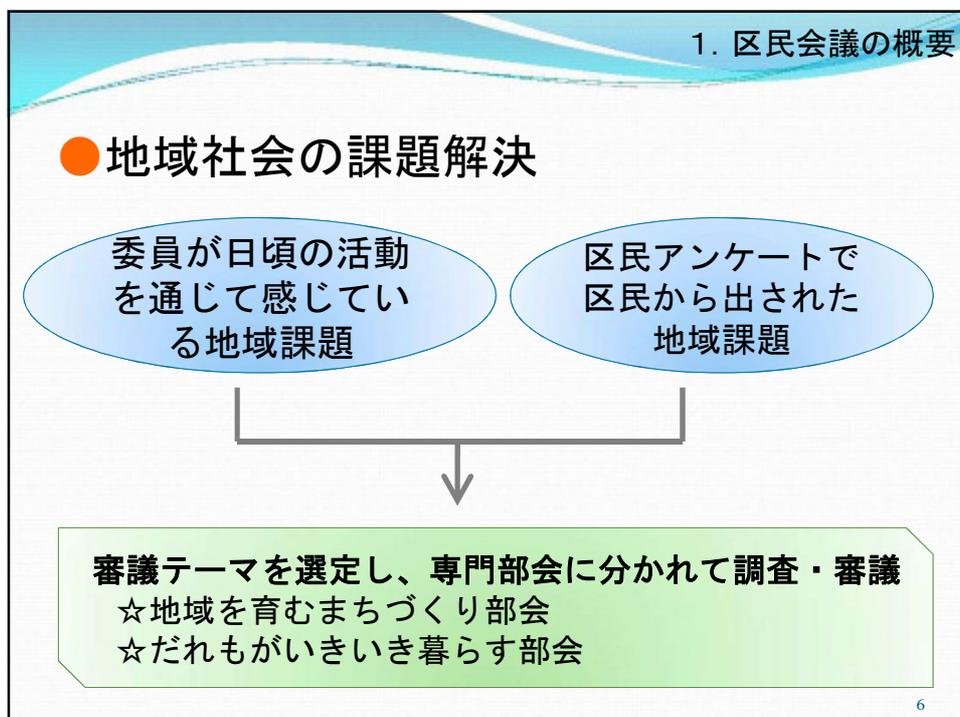
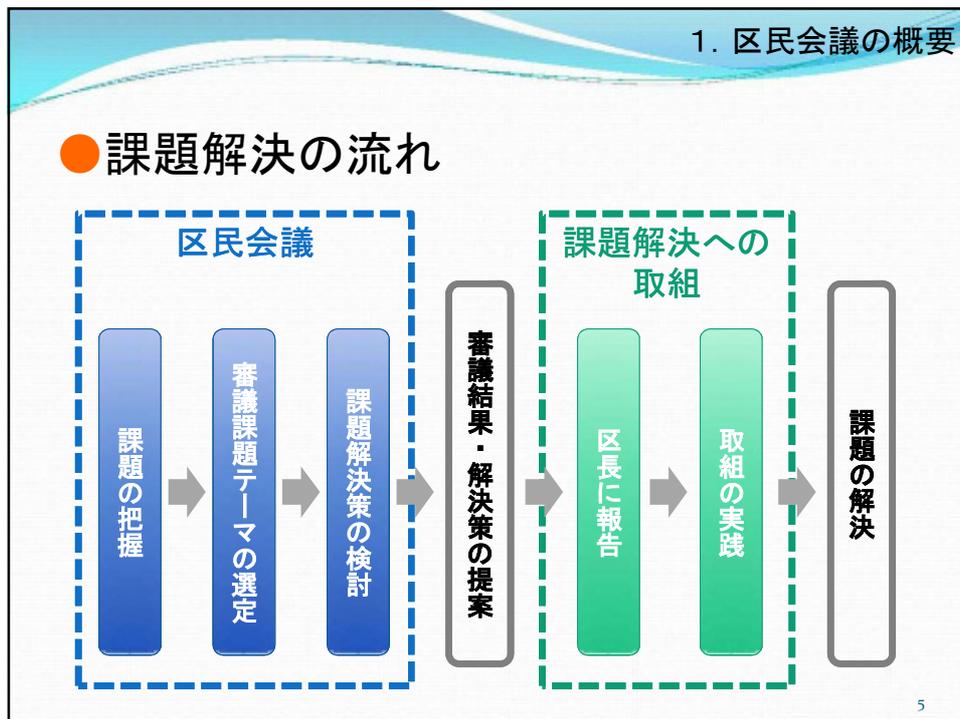
## 1. 区民会議の概要

### ●区民会議とは

暮らしやすい地域社会を目指して、区民が中心となって参加と協働により、地域社会の課題解決を図るために調査・審議する会議です。



4



## 2. 前期(第4期)川崎区区民会議 の主な成果

7

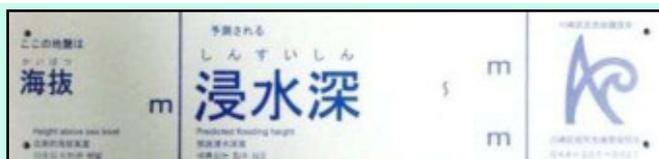
### 2. 前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果

#### ●提案：海拔表示板の設置

地域課題：  
市内で唯一海に面している区として、津波に対する区民の防災意識の向上

提案内容：  
区内全域の町内会・自治会の掲示板などに「海拔」と「浸水深」を記載した表示板の設置

取組状況：  
「海拔」と「浸水深」を表示したアクリル製のプレートを町内会・自治会の掲示板等を中心に平成25年度から順次設置し、現在、区内の約900箇所に設置されています。



8

## 2. 前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果

## ● 提案：「防災出前講座」の開催

地域課題：  
区民の防災知識（特に臨海部の災害対策など）の向上

提案内容：  
臨海部の行政機関や企業の災害対策などを伝える講座を区民の集まる場所に講師を派遣する「出前方式」で開催



取組状況：  
平成26年3月に殿町小学校で最初の講座が開催されました。

9

## 2. 前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果

## ● 提案：予防接種の接種率向上に向けた取組

地域課題：  
予防接種の接種率が低い「川崎区の子どもの予防接種の接種率」の向上

提案内容：  
□ 予防接種の接種率向上につなげる効果的な広報の実施  
□ 予防接種の重要性などへの理解を深める取組の実施



取組状況：  
□ 予防接種に関するアンケート調査の実施(区内の小学6年3校、中学3年3校)  
□ 予防接種への関心の向上を目的としたチラシ「お子さんの予防接種の計画を立てましょう」(写真)を日本語版に加え、6カ国語版も作成  
※英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語

10

## 2. 前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果

### ●提案：多言語(6ヶ国語)窓口問答集の作成

地域課題：  
区役所窓口での外国人市民への効果的な情報伝達

提案内容：  
6カ国語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、  
タガログ語)に対応した区役所における窓口問答集(Q & A)の作成

取組状況：  
窓口業務を行なう区役所職員へのアンケートや外国人市民を対象にヒアリングを行い、ニーズの高い事例について、平成26年度中に川崎区役所における外国人市民向けの窓口応接資料の多言語化(6言語)を実施します。

★その他：平成26年度における川崎区役所の取組み

- 区役所職員の外国人市民への対応力の向上を目的とした「やさしい日本語研修」の実施
- 区役所フロアガイドの多言語化(6カ国語)

11

## 3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況

### (1) 地域を育むまちづくり部会からの報告

12

3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況  
 (1) 地域を育むまちづくり部会からの報告

● 第5期区民会議  
 地域を育むまちづくり部会 委員

No.	氏名	所属団体等
1	赤間靖夫	川崎区まちづくりクラブ
2	新井一成	公募委員
3	岩瀬絹代	公募委員
4	金岩勇夫	かわさき歴史ガイド協会
5	塚原晴美	川崎区PTA協議会
6	戸村正房	かわさきタウンマネジメント機関 ※部会長
7	笠瀬晴美	公募委員
8	原田歩	川崎区市民健康の森海風の森をMAZUつくる会
9	深瀬欣之助	川崎区連合町内会

13

3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況  
 (1) 地域を育むまちづくり部会からの報告

● 審議テーマ

テーマ1：防災対策の充実

テーマ2：子どもの遊び場づくり

テーマ3：交通安全対策の推進

14

## ● 審議テーマ 1 : 防災対策の充実

### 課題認識

- 災害発生初期における自助力の大切さの認識不足
- 各家庭で防災に関して話し合う機会が少ない
- 各団体(町会、自主防災組織など)の防災に関する活動の連携の必要性

### 検討している審議内容

- 各地域での防災マップづくりに向けた「安全マップづくりマニュアル」の作成
- マイ防災手帳の作成を通じた家族防災会議の推進
- 自主防災組織のあり方の検討

15

## ● 審議テーマ 1 : 防災対策の充実

### これまでの主なご意見や今後の検討事項

#### ① 地域で防災マップをつくるための「安全マップづくりマニュアル」の作成

- ・ 区全体レベルのマップではなく、小学校区単位程度の詳細なマップが良い。
- ・ 地域住民自ら作成するためのマニュアルとして、目的や記載内容などを検討。
- ・ モデル的にどこかの地域で実施し、マニュアル作成のための検討材料とする。

#### ② マイ防災手帳の作成を通じた家族防災会議の推進

- ・ 防災手帳を作成し持ち歩くことで、いざというときの行動の役に立つ。また、防災手帳の作成過程が家族で防災について話し合うきっかけになる。
- ・ 防災手帳の作成の目的をはっきりさせ、仕様や記載内容などを検討する。

#### ③ 自主防災組織のあり方の検討

- ・ 地域によって防災に関する活動に濃淡がある。
- ・ 各団体が連携し、活動を推進していくための仕組みづくりが必要である。

16

## ● 審議テーマ2：子どもの遊び場づくり

### 課題認識

- 子どもが気軽に遊べる場所が少なく、公園の規制も厳しくなっている
- 地域にとって公園は非常に大切な場所。もっと有効に活用したい。

### 検討している審議内容

- 子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出
- 公園の管理運営のあり方の検討(禁止事項の整理など)

17

## ● 審議テーマ2：子どもの遊び場づくり

### これまでの主なご意見や今後の検討事項

#### ① 子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出

- ・ 高津区の夢パークのような子どもが自由に遊べる公園やビオトープがある公園が、川崎区内には少ない。
- ・ 公園は子どもの遊び場であるとともに、自然を学ぶ場所でもあり、災害時の活用や交流の場でもある。
- ・ 公園は子どもにとっても非常に大切な場所なので、もっと有効活用できる方法を検討する必要がある。

#### ② 公園の管理運営のあり方の検討(設置設備、禁止事項の整理など)

- ・ 公園によって設置されている設備も異なるし、規制やルールも異なる。公園の特徴や目的に合わせて戦略的な整備が必要。
- ・ 公園の禁止看板を利用できる遊びを表示する方式へ変更していく。

18

3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況  
(1) 地域を育むまちづくり部会からの報告

## ● 審議テーマ 3 : 交通安全対策の推進

**課題認識**

- 川崎区は自転車事故が非常に多い
- 自転車の盗難も非常に多い

**検討している審議内容**

**自転車マナー向上の検討**



スケアードストレート方式の交通安全教室

**これまでの主なご意見や今後の検討事項**

- 最近では、自転車事故も命に関わるし、多額の賠償金を払わなければいけない事例もある。
- 自転車マナーや盗難防止の啓発の方法（マナー遵守ステッカーの配布など）を検討する。
- スケアードストレート方式の交通安全教室を継続開催していくことが有効。

19

3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況  
(1) 地域を育むまちづくり部会からの報告

## ● 「そなエリア東京」の視察

視察日時：平成26年11月19日（水）午後1時から  
 視察概要：首都圏の防災拠点施設である「そなエリア東京」で、地震発生後72時間の生存力を学ぶ体験学習ツアーに参加し、委員一同改めて、災害発生初期における『自助』の大切さを認識しました。



体験学習ツアーの説明を受ける様子



被災した市街地フロアでニンテンドーDSを使ってクイズに答える様子

20

### 3. 第5期川崎区区民会議の審議・ 取組状況

#### (2) 誰もがいきいき暮らす部会からの 報告

21

#### 3. 第5期川崎区区民会議の審議・取組状況 (2) 誰もがいきいき暮らす部会からの報告

### ● 第5期区民会議 誰もがいきいき暮らす部会 委員

No.	氏名	所属団体等
1	新井トキ子	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会 ※副委員長
2	荒巻裕子	区長選任（子ども関係）
3	石渡勝朗	川崎区保護司会
4	知念ジョアンナ	区長選任（外国人市民）
5	中村紀美子	川崎区文化協会
6	朴昌浩	公募委員
7	畑敏雄	川崎市川崎区社会福祉協議会
8	原千代子	区長選任（多文化共生、子ども関係） ※部会長
9	森脇卓郎	区長選任（高齢者関係）
10	山田義孝	川崎区民生委員児童委員協議会

22

## ● 審議テーマ

テーマ1：地域における見守り活動の充実

テーマ2：子育てを通じた世代間交流

テーマ3：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

23

## ● テーマ1：地域における見守り活動の充実

### 課題認識

- 高齢者や子ども、障害者を見守る活動の充実が必要
- これらの見守り活動を実施している団体間（町内会、民生委員、社会福祉協議会など）の連携の強化が必要

### 検討している審議内容

- 各団体で実施している高齢者・子ども、障害者などを見守る活動の実態調査と見守り活動の連携方法の検討

24

## ● テーマ 1 : 地域における見守り活動の充実

### これまでの主なご意見や今後の検討事項

#### ①各団体（町内会、民生委員、社会福祉協議会など）で実施している高齢者、子ども、障害者などを見守る活動の実態調査

- ・見守り活動には多様な団体が関わっているので、その実態を知るためにアンケート調査を実施する。
- ・アンケートは、全区ではなくモデル地区を選定し実施する。今後、調査の目的や調査内容、調査対象者、調査方法などを検討する。
- ・アンケート後には、活発な活動を行っている団体に焦点を当てて、ヒアリング調査なども検討し、成功モデルの普及を目指す。

#### ②各団体の連携方法の検討

- ・アンケート調査後は、情報交換会を開催し、アンケート結果とともにお互いの活動を共有して、連携し、ネットワークの構築を図っていく。

25

## ● テーマ 2 : 子育てを通じた世代間交流

### 課題認識

- 世代間交流による地域コミュニティの活性化
- 子育て団体と地域の団体との連携による子育てを通じた世代間交流の促進

### 検討している審議内容

- 子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開
- 絵本の読み聞かせや外国人留学生との交流などによる世代間交流促進策の検討

26

## ● テーマ2：子育てを通じた世代間交流

### これまでの主なご意見や今後の検討事項

#### ①子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

- ・ 大師地区での第2回目の情報交換会の開催と、新たに田島地区での情報交換会の開催を検討する。

#### ②絵本の読み聞かせや外国人留学生との交流などによる世代間交流策の検討

- ・ 子育て支援センターや支援団体、小中学校、高等学校のボランティアの世代間交流の実態調査を実施する。
- ・ 絵本の読み聞かせには、おばあちゃんが孫を連れてくるケースもあるので、三世代交流が図れる。
- ・ ゼロから世代間交流の基盤をつくっていくよりも、今あるコミュニティ（子育てサロンや子育てサークルなど）を活用して、新たな世代間交流をつくる。

27

## ● テーマ3：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

### 課題認識

- 外国人市民も日本人も、もっと暮らしやすい社会を実現したい
- 外国人市民は防災に関する知識や情報が十分ではない

### 検討している審議内容

- 外国人市民の防災意識の向上に向けた外国人支援団体との連携による防災フォーラムの開催

28

● テーマ3：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

これまでの主なご意見や今後の検討事項

①外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催  
(外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握)

- ・教育文化会館の識字学級など、外国人が集まる場所で防災出前講座を開催すれば効果は高い。
- ・平成27年2月8日（日）に開催した防災フォーラムの継続開催を検討する。

【外国につながる市民と考える防災フォーラム】

日時：平成27年2月8日（日）午前10時から  
 場所：カトリック貝塚教会、貝塚公園  
 概要：防災についてのビデオ鑑賞、避難時に確認する事項などを学んだ後、防災体験（消火器の使い方、煙体験、地震体験）を実施し、約80人もの外国人市民が参加しました。



29

● 「識字学習活動」の視察

視察日時：平成26年11月26日（水）午後6時半から  
 視察概要：日本語に不自由な方のための識字学習活動を行っている教育文化会館及びふれあい館の取組について説明を受け、その後、実際に識字学習教室を見学しました。外国人市民と市民ボランティアが語学だけでなく互いの文化などを共に学びあっている姿が印象的でした。



教育文化会館館長による説明の様子



識字学習教室の様子

30